

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、7～18℃台を示し、やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げ（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり18トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり23kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり135kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり184kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり477kgの水揚げ。対馬西岸地区では、アオリイカなどが1日1統当たり15kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり141kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり101kgの水揚げで、前週の71%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/8～2/14）の沖合イカ釣は、船凍船が竹島周辺海区及び青森県沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺・山形沖・青森県沿岸にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 5日30隻入港、総計1,644箱。1航海最高120箱、平均54.8箱、スルメ（20・25入）1,644箱。

（漁業情報サービスセンターより）